

## 医療支援活動報告

山路看護師は、東日本大震災やタイの洪水などにおけるAMDAの医療支援活動に参加してきました。実際に現場を経験することで学んだ医療支援についてのポイントを、今後の当院の防災対策にも活かしていきます。

### 【被災地での医療支援のポイント】

#### ● 現地の方の目線に立った対応

医療支援が自分本位になってはいけません。常に相手の立場に立ち、相手の望む支援を心がけることが求められます。

#### ● 日々変わる現状を把握する

被災地の状況は日々変わります。日々、現場から情報を吸い上げて現状を把握し、その瞬間に求められていることに臨機応変に対応する必

要があります。

#### ● 必要物資が少ない中での創意工夫

設備や物資に恵まれた日常の医療施設とは全く環境が違います。各自がアイデアを出し合い「チームワーク」を一層高めていく必要があります。

山路看護師は今年の4月から1年間、川崎幸病院を離れ、AMDAの職員として医療支援活動に専念します。災害時には「経験」が大きな力になります。山路看護師の医療支援活動での経験は、災害に強い病院を目指す当院にとって大きな力になるでしょう。



※AMDA(アムダ)とは？

災害発生時などに、医療・保健衛生分野を中心に人道支援活動を展開している本部を岡山市におくNGO団体